



HPはこちら

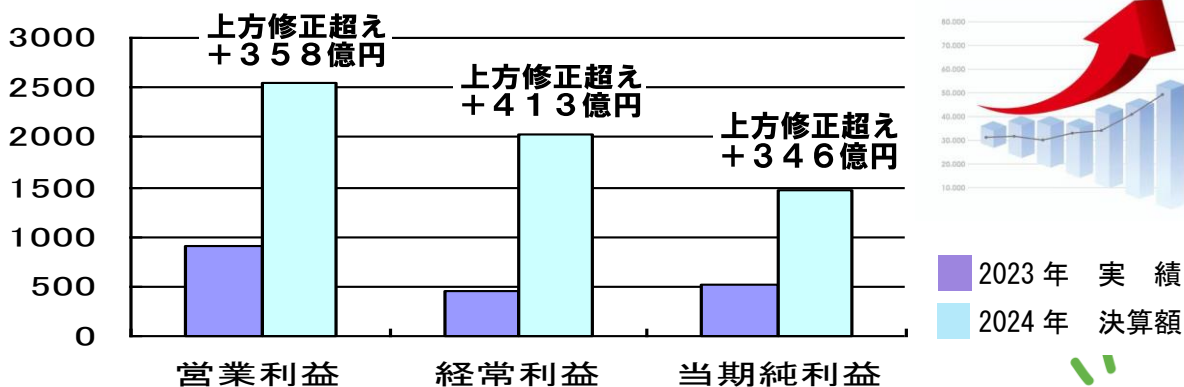
# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 組織情宣部  
2024年5月11日 No.765

## 2.7ヶ月の夏季手当で納得できますか？

新賃金と夏季手当の同時議論を提案したことにより  
夏季手当が低く抑え込まれたことは明らかだ！

### 2024年3月期 期末決算



4月30日発表の「2024年3月期 期末決算」では上方修正を上回る期末決算を実現し、ゴールデンウィークのご利用状況も好調に推移しています。この状況をつくり出したのは、様々な会社施策を担い奮闘してきた社員の努力に他なりません。



## 経営側が検討した支給月数は「2.7ヶ月」



経営側からの「社員のみなさんへ」の発信は  
出し渋りを覆い隠すためだったのか！？

経営側は3月8日付で発出した「令和6年度 新賃金・夏季手当のポイント」において、令和6年度の夏季手当支給月数が2.7ヶ月であると提示しました。

その中で、昨年度の平均基準内賃金との比較において「2.83ヶ月と同等の支給水準となる」と示されています。

昨年（令和5年度）の夏季手当の回答は「2.5ヶ月＋5万円（2.65ヶ月相当）」であり、比べるとわずか「0.05ヶ月」のアップでしかありません！経営側はこの間、期末手当の水準は無い、比べるものもないとしながらも、前年度を基準とした水準を示しています。

上方修正を上回る期末決算を踏まえて  
納得のいく利益配分を一緒に求めていこう！